

建築研究所ニュース



令和元年6月11日

国立研究開発法人 建築研究所の建築環境分野、建築材料分野 及び建築生産分野の研究員の募集について

国立研究開発法人 建築研究所では、建築環境分野、建築材料分野及び建築生産分野の「任期の定めのない研究員」及び「任期付研究員」（テニユアトラック制度適用）の採用を予定しております。募集要領は別紙資料のとおりです。

なお、募集内容等は、諸般の事情によりやむを得ず変更することがあります。

最新情報については、国立研究開発法人 建築研究所のホームページを御確認ください。

(<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/employment/index.html>)

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
所属 企画部 企画調査課
氏名 青柳 晶子
電話 029-864-2151 (代表)
E-mail kikaku@kenken.go.jp

国立研究開発法人 建築研究所 研究員の募集

国立研究開発法人 建築研究所では、「任期の定めのない研究員」及び「任期付研究員」の採用を予定しています。

このうち任期付研究員については、本人が希望する場合には任期中の研究業績等を審査し、任期の定めのない研究員に移行することができるテニュアトラック制度を適用することとしています。

募集要領は、次のとおりです。

募集要領

1. 応募の要件

次の（１）から（３）までの全てを満たす者であること。

（１）博士の学位（Ph.D.を含む。以下同じ。）を有する、又は令和2年3月31日までに博士の学位を取得する見込みであること。

（２）以下の分野の研究者であること。

今回の募集方針は、次のとおり。

【建築環境分野】

安全・安心で低炭素な社会づくりに資する住宅・建築・都市の実現に向けた研究開発を行うため、建築環境・設備工学分野の研究に必要な能力と意欲を有する若手研究者を募集する。なお、建築物又は都市・地域の居住性向上と低炭素化に関する高度な知識と研究経験を有する者を優位に扱う。

【建築材料分野】

建築構造物の安全性や耐久性の向上及び環境負荷等の低減、並びにこれらの評価に資する研究開発を行うため、建築材料及び関連する分野の研究に必要な高度な知識、経験及び能力を有する若手研究者を募集する。なお、仕上材又は木質材料の耐久性に関する高度な知識と研究経験を有する者を優位に扱う。

【建築生産分野】

建築物の合理的な生産と長期的運用を支援する建築生産技術、建物情報の整備・利活用手法に関する研究開発を行うため、建築生産分野の研究に必要な知識と経験及び能力を有する若手研究者を募集する。なお、設計、施工及び維持管理の情報化又は建築ストックマネジメントに関する高度な知識と研究経験を有する者を優位に扱う。

（３）日本語及び英語で専門分野の講義ができる語学力を有すること。

2. 採用予定人員（「任期の定めのない研究員」及び「任期付研究員」の合計人数）

以下の分野から2名程度。

- ・ 建築環境分野
- ・ 建築材料分野
- ・ 建築生産分野

応募者の状況によっては、合格者は採用予定人員に満たない場合がある。

3. 採用条件

3. 1 採用時期等

- 原則、令和2年4月1日を予定。
- 任期付研究員の任期は、令和5年3月31日まで（3年間）。

3. 2 待遇

- 給与は、経歴等をもとに国立研究開発法人建築研究所職員給与規程に基づき決定。
- 例えば、博士課程修了者で3年間研究者としての勤務を経てから任期の定めのない研究員として採用された場合の俸給月額が287,500円、博士課程修了者でただちに任期付研究員として採用された場合の俸給月額は330,000円（平成31年4月現在）。
- 俸給の他に、通勤手当、期末手当、地域手当、時間外勤務手当等の諸手当あり。ただし、任期付研究員については、扶養手当、住居手当、単身赴任手当は支給しない。
- 出産・育児・介護等のライフイベントに応じて、育児休業制度や介護休業制度等あり。
- 就業時間は、8時15分～17時00分又は8時30分～17時15分。ただし、フレックスタイム制も利用可能。
- 休日は、毎週土曜日及び日曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日。
- 休暇は、年次休暇として、採用年は15日間、2年目以降は20日間付与され、その他、夏季休暇などの特別休暇あり。
- 社会保険は、国土交通省共済組合及び雇用保険に加入。

3. 3 その他

- 任期付研究員については、テニュアトラック制度を適用するので、本人が希望するときは、審査を経た上で、任期終了とともに任期の定めのない研究員への移行があり得る。その場合、遅くとも任期終了1年前までに研究業績等に関する審査を行う。また、審査を経た上で、任期終了を待たずに任期の定めのない研究員へ移行させることもあり得る。
- 「任期の定めのない研究員」又は「任期付研究員」のいずれとして採用するかは、応募者の研究実績等を考慮の上、決定する。なお、原則として、募集分野における職歴が採用時点において3年に満たない者は、任期付研究員として採用する。
- 選考に当たって、国家公務員採用総合職試験等の合格者を優位に扱う場合がある。

4. 選考方法、スケジュール

- 募集期間・・・令和元年6月11日（火）～令和元年7月12日（金）
- 書類審査・・・令和元年7月下旬（結果は面接審査の5日前頃に本人に連絡）
- 面接審査・・・令和元年7月30日（火）予定（書類審査の合格者のみ実施する。
実施場所は建築研究所内）
- 内々定・・・令和元年8月上旬

- ・ 内 定・・・令和元年 10 月上旬
- ・ 上記日程や募集内容等は諸般の事情によりやむを得ず変更する場合がある。
- ・ 変更した際は、国立研究開発法人 建築研究所のホームページ(<http://www.kenken.go.jp/>)でお知らせするので、最新情報を確認すること。

5. 提出書類

- ・ 「研究員応募書類在中」と朱書き明記した封筒に、次の提出書類を入れて、書留（簡易書留可）で送付すること。
 - 1) 研究所志望カード
 - 2) 論文、著書の別刷又はコピーしたもので、主要なもの 1 編以上 3 編以下
原則として 20 ページ程度以下のものとする。
 - 3) 学位取得（又は取得見込）証明書
学位取得見込証明書が発行されない場合は、指導教官による、令和 2 年 3 月 31 日までに博士の学位を取得する見込みである旨記載し、押印した書面を提出すること。
学位記（博士）のコピーでもよい。
修了証明書は不可（ただし、学位取得の記載があるものは可。）。
- ・ 提出書類は採用選考にのみ使用し、返却しない。

6. 提出締め切り

令和元年 7 月 12 日（金）必着

7. 提出先・問い合わせ先

〒305-0802 茨城県つくば市立原 1

国立研究開発法人 建築研究所 企画部 企画調査課 研究員採用担当（青柳）

Tel：029-864-2151（代表）

E-mail：kikaku@kenken.go.jp

8. その他

- ・ 面接審査に出席するための旅費等は支給しない。
- ・ 虚偽又は不正の事実に基づいて合格又は採用された者であることが判明したときは、その合格又は採用を取り消す場合がある。
- ・ 令和 2 年 3 月 31 日までに博士の学位を取得していない場合には、採用しない。
- ・ 募集内容等は諸般の事情によりやむを得ず変更する場合がある。
- ・ 最新情報は、国立研究開発法人 建築研究所のホームページ (<http://www.kenken.go.jp/>)で確認すること。

専門分野

これまでの研究履歴

当研究所を志望する動機

その他特記すべき事項(受賞歴など)

発表論文リスト

(1) 査読付論文

(和文)

- ①
- ②
- ③

(英文)

- ①
- ②
- ③

(2) 査読付でない論文

(和文)

- ①
- ②
- ③

(英文)

- ①
- ②
- ③

(3) 著書、論説、寄稿

(和文)

- ①
- ②
- ③

(英文)

- ①
- ②
- ③

※発表論文リストについては、(1)査読付論文、(2)査読付でない論文、(3)著書、論説、寄稿に分けて、それぞれ和文・英文について、著者名(著者が複数いる場合は、論文等に記載された順に全ての著者の氏名を記入してください。)、論文等の名称、掲載された論文集等の名称、掲載時期等を記入してください。スペースが足りない場合は、必要に応じて追加してください。

競争的資金の獲得・実施状況(応募時点で獲得・実施しているものがあれば記入)

当研究所において取り組もうと考えている研究課題及びその内容(2,000字程度)	

アンケート1	任期付研究員であってもテニュアトラック制度が適用されることは、今回の応募の動機になりましたか？	はい・いいえ
アンケート2	今回の募集をどのように知りましたか？(複数回答可)	
	1. 建築研究所のホームページ	2. 新聞記事(紙名)
	3. 担当教授(名前)	
	4. JREC-INのホームページ	5. その他()

※枠に収まらない場合は、適宜、別紙を添付する等調整してください。
 ※アンケートの回答内容は、採用の判断には用いません。